2025 年 4 月 24 日

報道関係各位

株式会社ＯＫＢ総研

「2025 年度新入社員の意識調査・理想の上司」調査報告

ＯＫＢグループのシンクタンク（株）ＯＫＢ総研 （岐阜県大垣市郭町 2-25　社長 青木義実）は、標題の調査結果を取りまとめましたのでご案内します。当社では、OKB 総研主催の新入社員研修会の受講者を対象に、**「新入社員の意識調査」**を毎年実施しています。

〈調査結果のポイント〉

■ 理想の上司は、「内村光良」が２年連続で 1 位（敬称略）

「あなたの理想の上司について著名人・有名人に例え 1 人だけお答え下さい（自由回答）」と尋ねたところ、「内村光良」が前回調査（2024 年度）に続き 1 位となり、男女別ランキングでもトップとなった。

新入社員全体

順位			支持率（%）	
1位	(1)	**内村光良**	9.4	(5.5)
2位	(2)	**大谷翔平**	4.5	(4.9)
3位	(4)	**明石家さんま**	4.2	(3.0)
4位	(3)	水卜麻美	3.0	(4.7)
5位	(9)	アンミカ	2.7	(1.9)

（注）敬称略。括弧内は2024年度の順位、支持率。

男性新入社員

順位			支持率（%）	
1位	(2)	**内村光良**	9.7	(6.0)
2位	(1)	**大谷翔平**	5.3	(7.0)
	(4)	**明石家さんま**	5.3	(3.0)
4位	(3)	フリーザ	4.4	(4.0)
5位	(8)	松岡修造	3.1	(2.0)

（注）敬称略。括弧内は2024年度の順位、支持率。

女性新入社員

順位			支持率（%）	
1位	(2)	**内村光良**	9.3	(5.0)
2位	(3)	**アンミカ**	6.4	(4.3)
3位	(1)	**水卜麻美**	5.2	(10.6)
	(5)	**天海祐希**	5.2	(3.7)
5位	(3)	櫻井翔	4.1	(4.3)

（注）敬称略。括弧内は2024年度の順位、支持率。

■ 将来就きたい地位は「スペシャリスト志向」が再び首位に

「将来どんな地位に就きたいか」と尋ねたところ、1 位が「スペシャリスト志向」で 36.9%、次いで「管理職志向」が 20.5%、「一般社員志向」が 19.0%となった。「スペシャリスト志向」が前回から 12.0 ポイント上昇して 2 年ぶりにトップとなった。前回 1 位の「一般社員志向」は 9.1 ポイント低下して 3 位となった。

■ 上司・先輩との人間関係は「ほどほど派」が 65%

「上司・先輩との人間関係はどのように考えているか」と尋ねたところ、「ほどほど派」が 65.0%で最も高く、次いで「積極派」が 24.4%となった。

■ 働く目的は「収入を得て安定した生活を送りたい」「自分の成長のため」が上位

「あなたが働く目的は何か」と尋ねたところ、1 位は「収入を得て安定した生活を送りたい」で 59.2%、次いで「自分の成長のため」が 58.5%、「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」が 44.9%となった。

■ 女性の「フレックスタイム」・「在宅勤務」・「短時間勤務制度」の利用意向が低下

利用したい働き方について尋ねたところ、女性において「利用したい」とする割合の高い上位 3 項目は、「短時間勤務制度」68.4%、「テレワーク（在宅勤務）」62.1%、「フレックスタイム（時差出勤等）」58.9%であったが、いずれも前回より 10 ポイント以上減少しており、それぞれ▲11.7 ポイント、▲12.2 ポイント、▲13.9 ポイントとなった。

※調査結果詳細については次頁以降をご参照下さい。

資料配布場所：大垣市政経済記者クラブ、名古屋証券取引所・金融記者クラブ

【本件に関するお問い合わせ先：㈱ＯＫＢ総研 調査部　梅木 風香　Tel.0584-74-2615】

調査の概要

調査対象	岐阜県・愛知県等の企業・団体の新入社員
調査期間	2025 年 3 月 28 日～4 月 7 日
調査方法	ＯＫＢ総研主催の新入社員研修会（WEB,集合型）の受講者(755 名)に 無記名方式で実施
有効回答者数	463 名(有効回答率 61.3%)
回答者属性	下表の通り

		全体	男性	女性	回答しない
有効回答者数		463名	267名	190名	6名
平均年齢		21.1歳	21.0歳	21.3歳	23.2歳
最終学歴	高校卒業	35.4%	36.7%	33.7%	33.3%
	専門学校卒業	10.2%	9.0%	12.1%	0.0%
	短期大学卒業	5.2%	2.6%	8.4%	16.7%
	4年制大学卒業	44.5%	45.3%	43.7%	33.3%
	その他	4.8%	6.4%	2.1%	16.7%
居住地	岐阜県	57.7%	56.6%	60.0%	33.3%
	愛知県	31.1%	32.2%	28.9%	50.0%
	三重県	1.3%	1.1%	1.6%	0.0%
	滋賀県	2.4%	3.0%	1.6%	0.0%
	その他	7.6%	7.1%	7.9%	16.7%
業種	製造業	42.5%	44.9%	39.5%	33.3%
	建設業	14.9%	18.4%	10.0%	16.7%
	卸売・小売業	7.8%	7.1%	7.9%	33.4%
	サービス業	7.1%	4.5%	11.1%	0.0%
	医療・福祉	6.9%	2.6%	13.2%	0.0%
	その他	20.8%	22.5%	18.3%	16.6%

（注）端数を四捨五入しているため、合計は100%にならない場合がある（以下同じ）。

今年の新入社員像

（１） 地元就職とＵターン就職

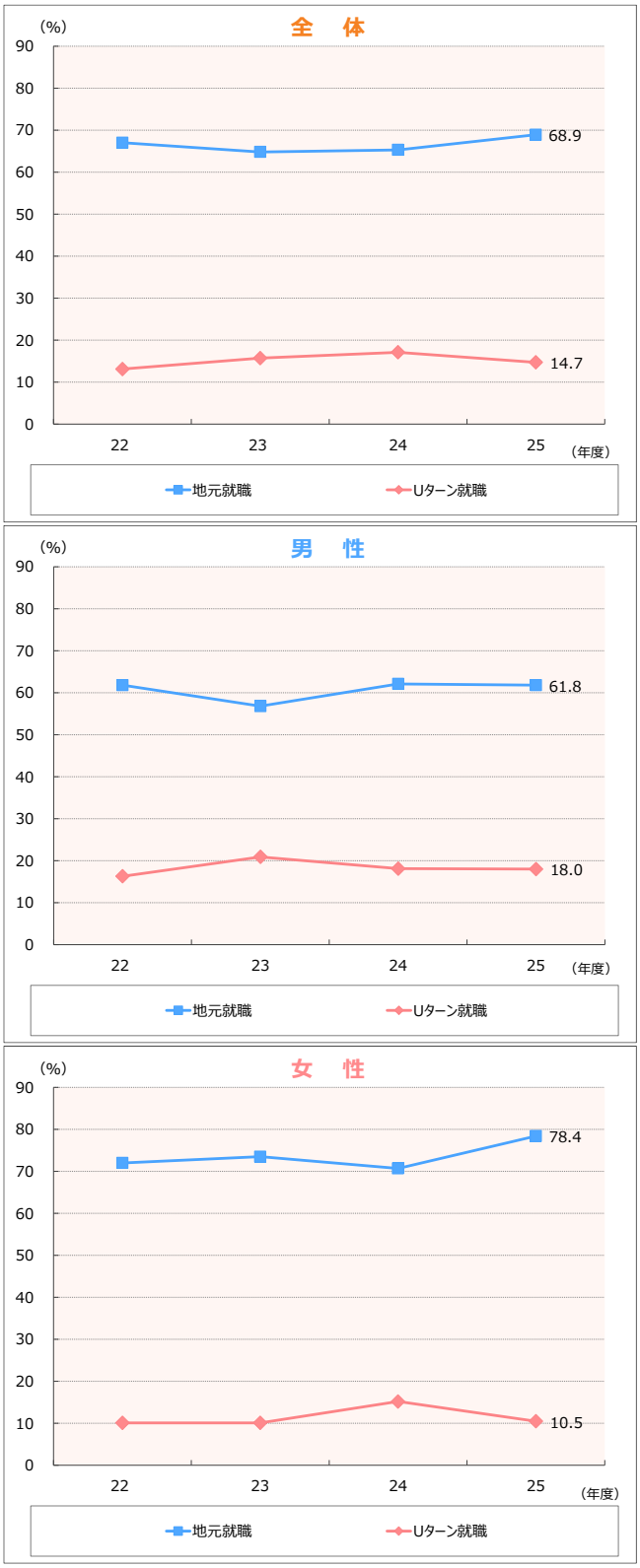
・・・「地元就職」が 68.9%

「あなたは地元就職・U ターン就職・その他のうち、どれにあてはまりますか」と尋ねたところ、「地元就職」が 68.9%で最も高くなった。「U ターン就職」は 14.7%だった（図表 1）。

ここ 4 年間で「地元就職」は 6 割前後、「U ターン就職」は 1 割前後で推移している。

男女別に見ると、「地元就職」は男性が 61.8%、女性が 78.4%と、女性が男性に比べ 16.6 ポイント高くなっている。「U ターン就職」は男性が 18.0%、女性が 10.5%と、男性が女性に比べ 7.5 ポイント高くなっている。

図表１　地元就職とＵターン就職（「その他」を除いた項目）



（２） 就職先の選択基準

･･･「休日・勤務時間」「給与・ボーナス」が上昇傾向

「入社を決めるにあたって何を重視しましたか（3 つまで選択）」と尋ねたところ、1 位は「業種・事業内容」（53.1%）、2 位は「雰囲気・イメージ」（42.5%）、3 位は「休日・勤務時間」（39.7%）となった（図表 2）。

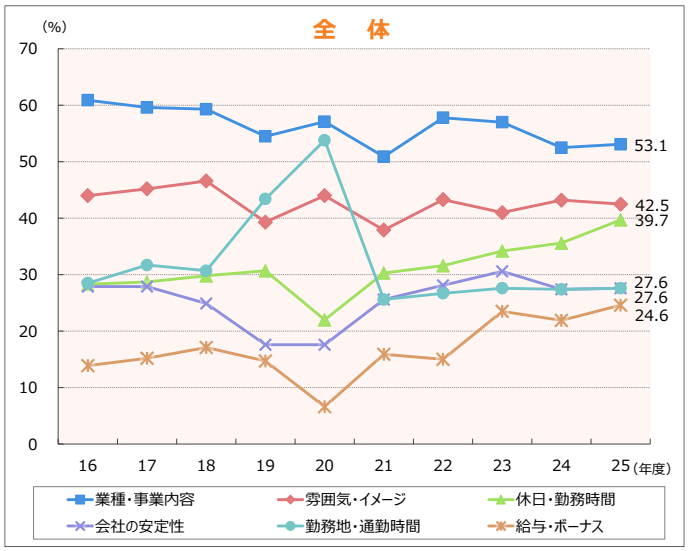
「休日・勤務時間」と「給与・ボーナス」は、ここ 10 年間で振れを伴いながらも緩やかな上昇傾向となっている。

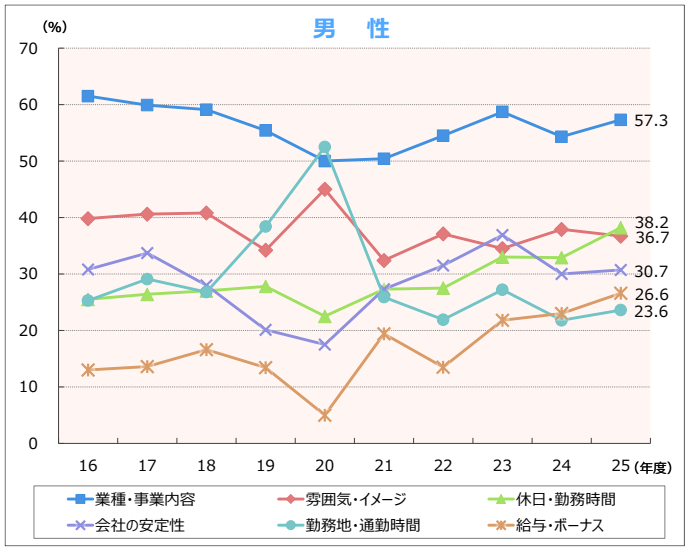
男女別に見ると、男性は「業種・事業内容」（57.3%）、女性は「雰囲気・イメージ」（51.1%）がそれぞれ最も高くなった。「雰囲気・イメージ」については女性が男性に比べて 14.4 ポイント高くなっている。

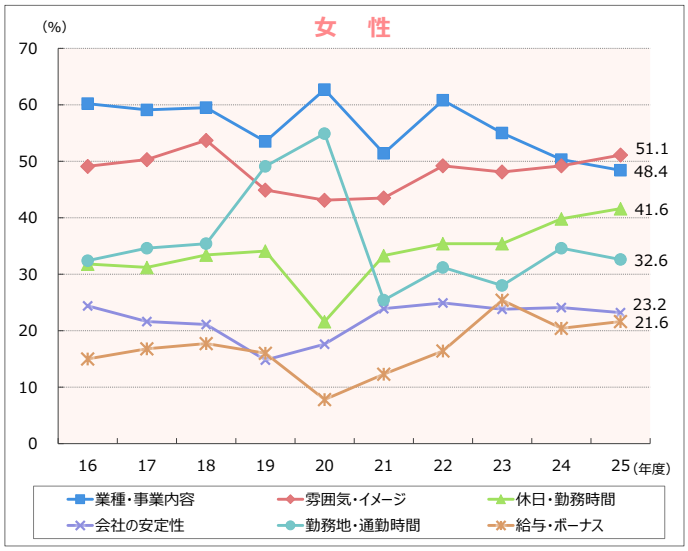
図表 2　就職先の選択基準　※複数回答

順位	項目	回答割合	前回差
1	業種・事業内容	53.1%	+0.6
2	雰囲気・イメージ	42.5%	▲0.7
3	休日・勤務時間	39.7%	+4.1
4	会社の安定性	27.6%	+0.2
5	勤務地・通勤時間	27.6%	+0.2
6	給与・ボーナス	24.6%	+2.7
7	社員・人事担当者の対応	13.8%	▲1.0
8	福利厚生	13.6%	▲1.2
9	会社の将来性	12.3%	+0.7
10	自分自身の成長	11.7%	▲3.8
11	会社の規模	9.1%	+2.3
12	親または学校の推薦	6.0%	+0.1
13	会社の知名度	3.0%	+1.4
14	SDGsなど社会貢献意識の強さ	2.6%	+0.3
15	柔軟な働き方（テレワークなど）	2.2%	+0.8
16	その他	0.6%	▲1.0

就職先の選択基準（上位 6 項目）の推移







※2020 年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない

（３） 将来就きたい地位

・・・「スペシャリスト志向」が再び首位に

「あなたは将来どんな地位に就きたいですか（1 つだけ選択）」と尋ねたところ、「特殊能力・技能のあるスペシャリスト社員（以下：スペシャリスト志向）」が 36.9%で最も高く、次いで「部長・課長・主任などの肩書のある管理職（以下、管理職志向）」が 20.5%、「一般社員のままがよい（以下：一般社員志向）」が 19.0%となった（図表 3）。

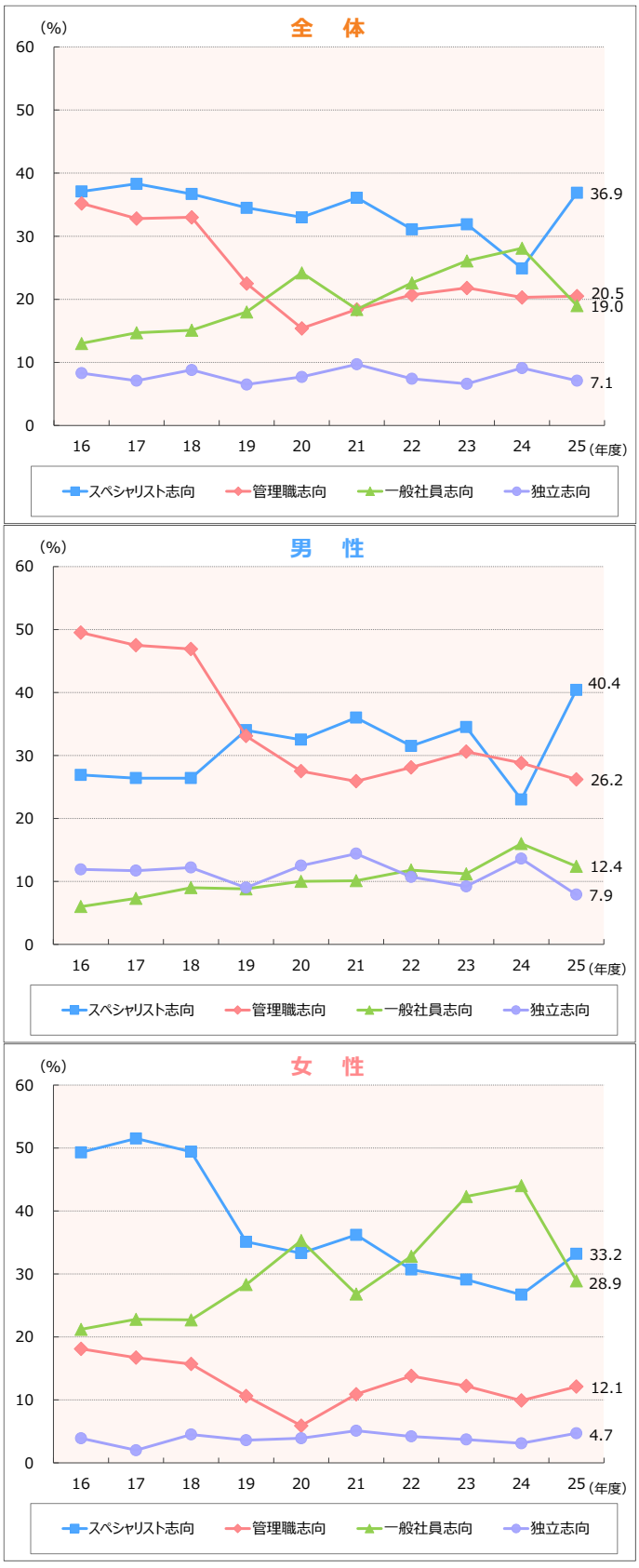
「スペシャリスト志向」が前回から 12.0 ポイント上昇して 2 年ぶりにトップとなった。「スペシャリスト志向」を選択した理由（自由記述）としては、「会社に貢献できる人になりたい」「給料が上がるから」などのコメントが目立った。

一方、前回 1 位だった「一般社員志向」は 9.1 ポイント低下して 3 位となった。

男女別に見ると、男性は「スペシャリスト志向」が 40.4%で前回から+17.4 ポイントと大きく上昇し 1 位となった。2 位は「管理職志向」で 26.2%だった。

女性は「スペシャリスト志向」が 33.2%で最も高くなった。「一般社員志向」は 28.9%で前回から▲15.1 ポイントと大きく低下し、「スペシャリスト志向」と順位が入れ替わった。

図表 3　将来就きたい地位（「わからない」を除いた項目）



※2020 年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない

（４） 上司・先輩との人間関係

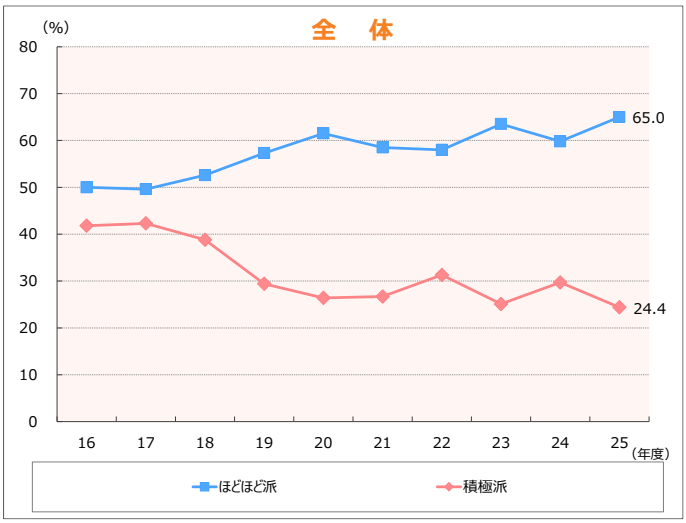
・・・「ほどほど派」が 65%

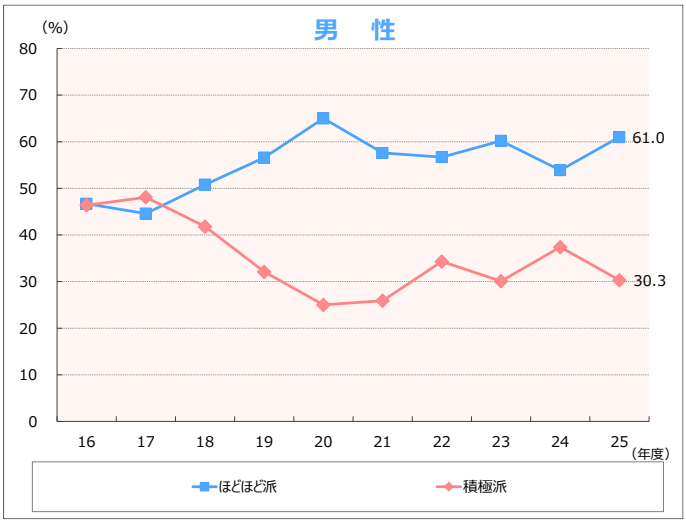
「上司・先輩との人間関係はどのように考えていますか（1 つだけ選択）」と尋ねたところ、「義理を欠かない程度（以下：ほどほど派）」が 65.0%で最も高く、次いで「プライベートも含め積極的に（以下：積極派）」は 24.4%となった（図表 4）。

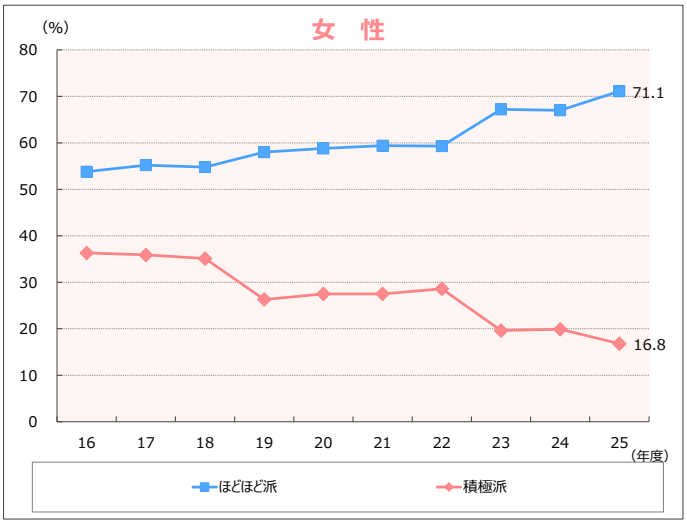
男女別に見ると、男性は「ほどほど派」が 61.0%で前回から 7.1 ポイント上昇した一方、「積極派」は 30.3%で前回から 7.1 ポイント低下し、両者の差は再び開いた。

女性は「ほどほど派」が 71.1%で前回から 4.1 ポイント上昇した一方、「積極派」は 16.8%で前回から 3.1 ポイント低下し、両者の差はやや拡大した。

図表 4　上司・先輩との人間関係（上位 2 項目）







※2020 年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない

（５） 入社の際の不安

･･･「上司・先輩との人間関係」が４年連続でトップ

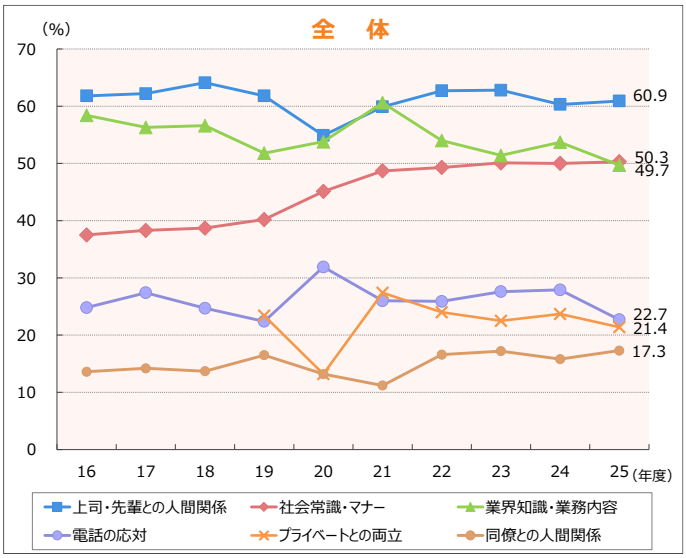
「入社にあたって不安に思うことは何ですか（3 つまで選択）」と尋ねたところ、「上司・先輩との人間関係」が 60.9%と、4 年連続でトップとなった。2 位は「社会常識・マナー」（50.3%）、3 位は「業界知識・業務内容」（49.7%）だった（図表 5）。

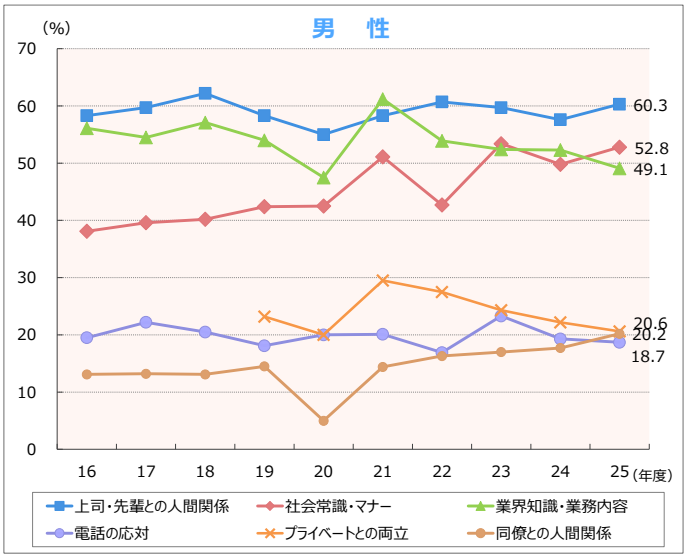
男女ともに「上司・先輩との人間関係」（それぞれ 60.3%、62.1%）が最も高くなった。女性では「電話の応対」（27.9%）が前回から 10.3 ポイント低下した。

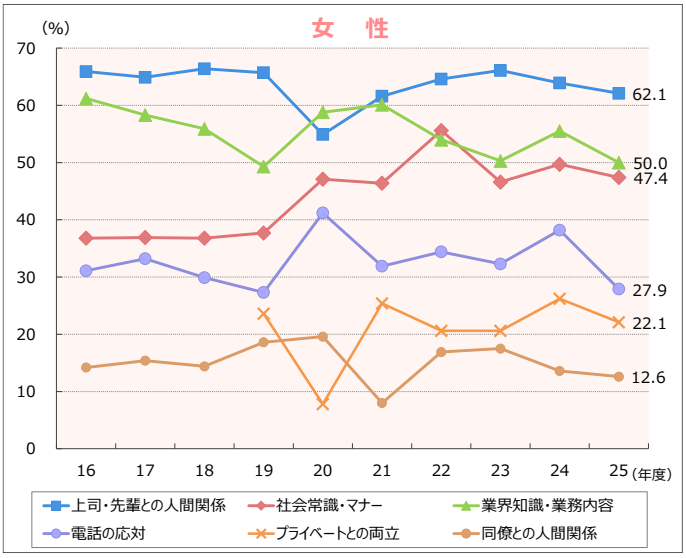
図表 5　入社の際の不安　※複数回答

順位	項目	回答割合	前回差
1	上司・先輩との人間関係	60.9%	+0.6
2	社会常識・マナー	50.3%	+0.3
3	業界知識・業務内容	49.7%	▲4.0
4	電話の応対	22.7%	▲5.2
5	プライベートとの両立	21.4%	▲2.3
6	同僚との人間関係	17.3%	+1.5
7	規則的な生活	14.9%	▲0.6
8	パソコン・オフィス機器の使い方	13.0%	+0.4
9	機械の使い方	13.0%	+0.9
10	健康	9.3%	▲1.9
11	その他	1.1%	+0.9

入社の際の不安（上位 6 項目）の推移







※2020 年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない

（６） 働く目的

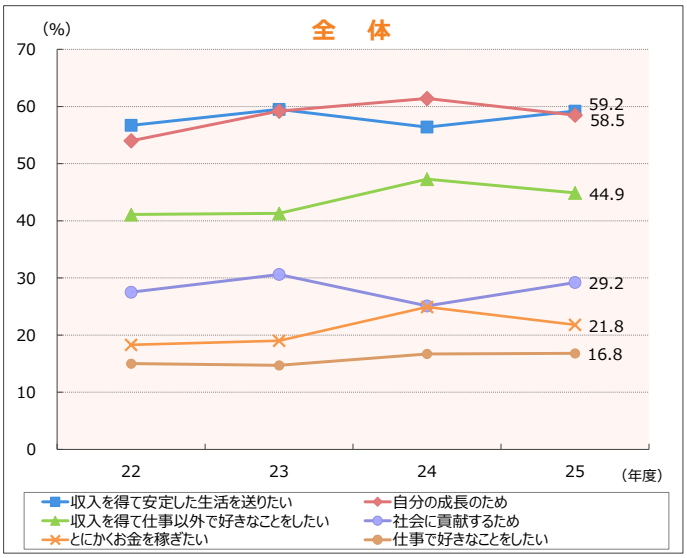
･･･「収入を得て安定した生活を送りたい」「自分の成長のため」が上位

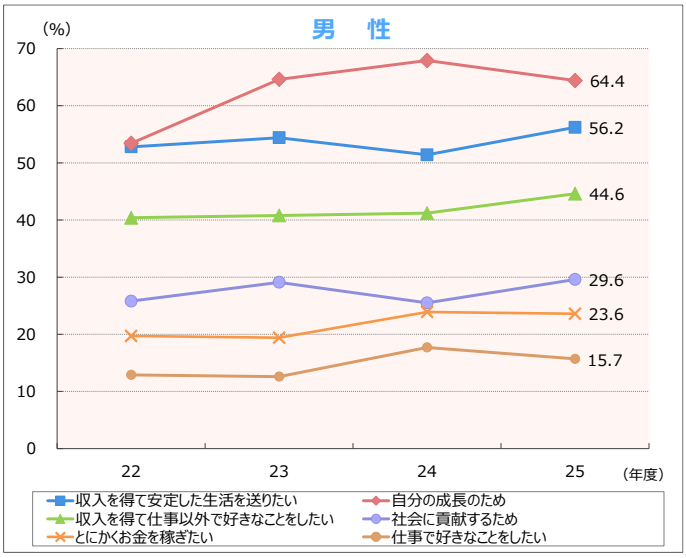
「あなたが働く目的は何ですか（3 つまで選択）」と尋ねたところ、1 位は「収入を得て安定した生活を送りたい」（59.2%）、2 位は「自分の成長のため」（58.5%）、3 位は「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」（44.9%）となった（図表 6）。

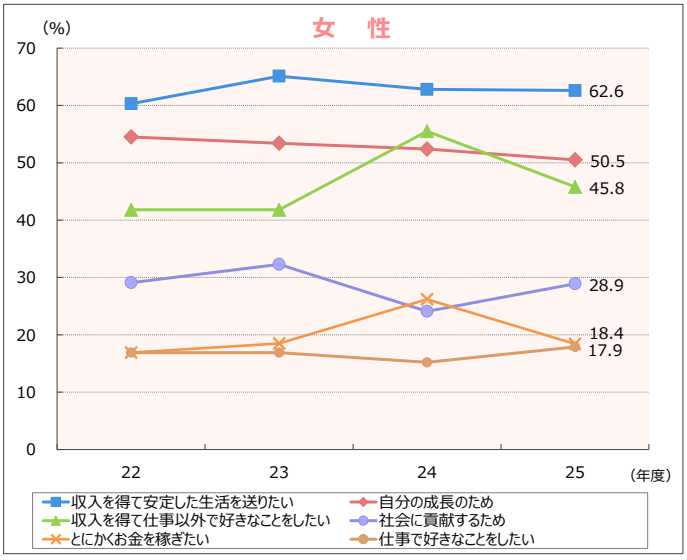
男女別に見ると、男性は「自分の成長のため」（64.4%）が最も高く、次いで「収入を得て安定した生活を送りたい」（56.2%）、「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」（44.6%）となった。また、「自分の成長のため」は女性と比べて 13.9 ポイント高くなっている。

女性は「収入を得て安定した生活を送りたい」（62.6%）が最も高く、次いで「自分の成長のため」（50.5%）、「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」（45.8%）となった。「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」は前回から 9.7 ポイント低下し、「自分の成長のため」と順位が入れ替わった。

働く目的（上位 6 項目）の推移







図表 6　働く目的　※複数回答

順位	項目	回答割合	前回差
1	収入を得て安定した生活を送りたい	59.2%	+2.8
2	自分の成長のため	58.5%	▲2.9
3	収入を得て仕事以外で好きなことをしたい	44.9%	▲2.4
4	社会に貢献するため	29.2%	+4.1
5	とにかくお金を稼ぎたい	21.8%	▲3.1
6	仕事で好きなことをしたい	16.8%	+0.1
7	キャリアアップのため	14.9%	▲0.4
8	社会で活躍するため	13.2%	+1.3
9	高い地位を得るため	4.5%	+1.3
10	その他	1.7%	+0.8

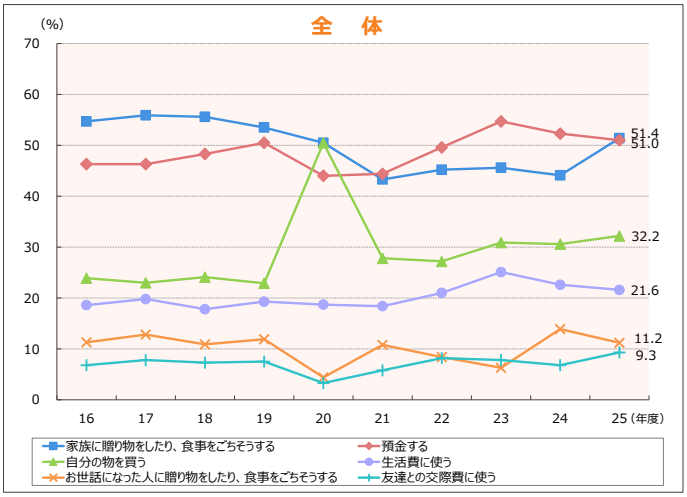
（７） 初給与の使い道

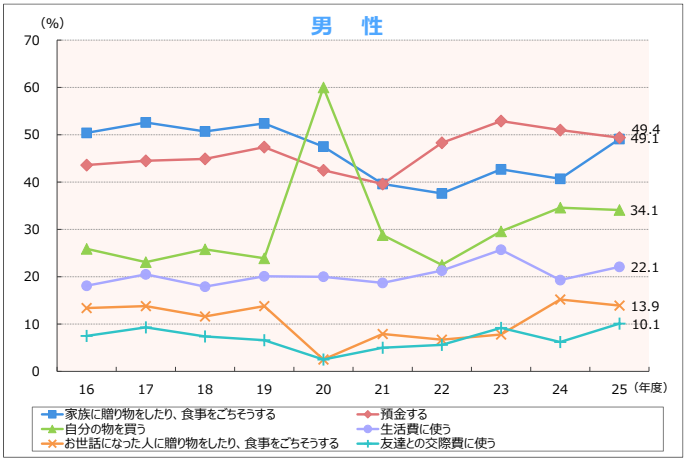
・・・「家族に贈り物をしたり、食事をごちそうする」「預金する」が上位

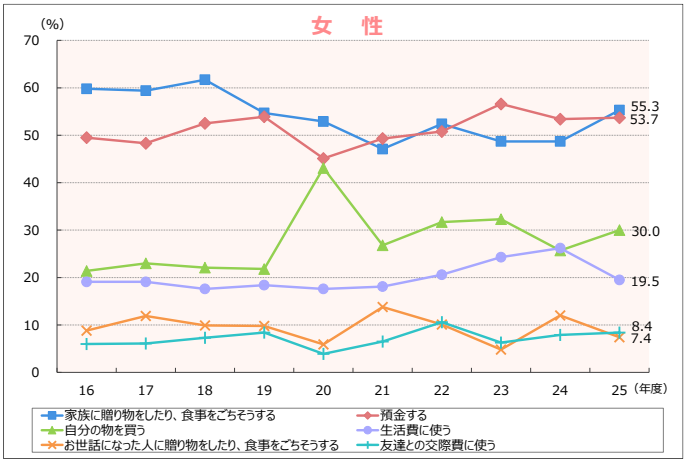
「初給与はどのように使いますか（2 つまで選択）」と尋ねたところ、1 位は「家族に贈り物をしたり、食事をごちそうする」（51.4%）、2 位は「預金する」（51.0%）となった（図表 7）。

男女別に見ると、男女ともに「家族に贈り物をしたり、食事をごちそうする」、「預金する」が上位を占めた。

図表 7　初給与の使い道（上位 6 項目）※複数回答







※2020 年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない

（８） 利用したい働き方

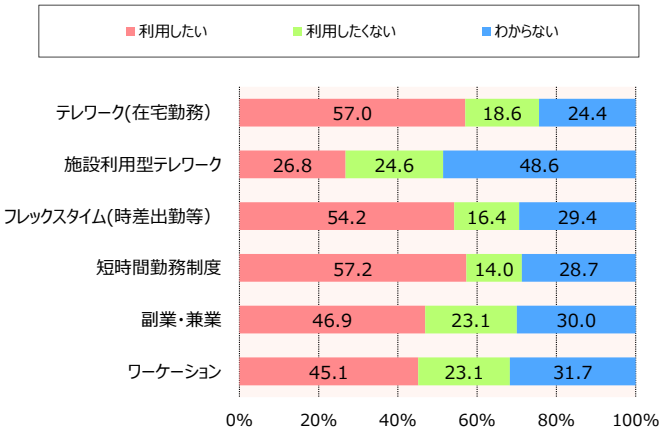
・・・女性の「フレックスタイム」・「在宅勤務」・「短時間勤務制度」の利用意向が低下

利用したい働き方について尋ねたところ、「利用したい」の回答率が最も高いのは「短時間勤務制度」（57.2%）、次いで「テレワーク（在宅勤務）」（57.0%）、「フレックスタイム（時差出勤等）」（54.2%）だった（図表 8）。

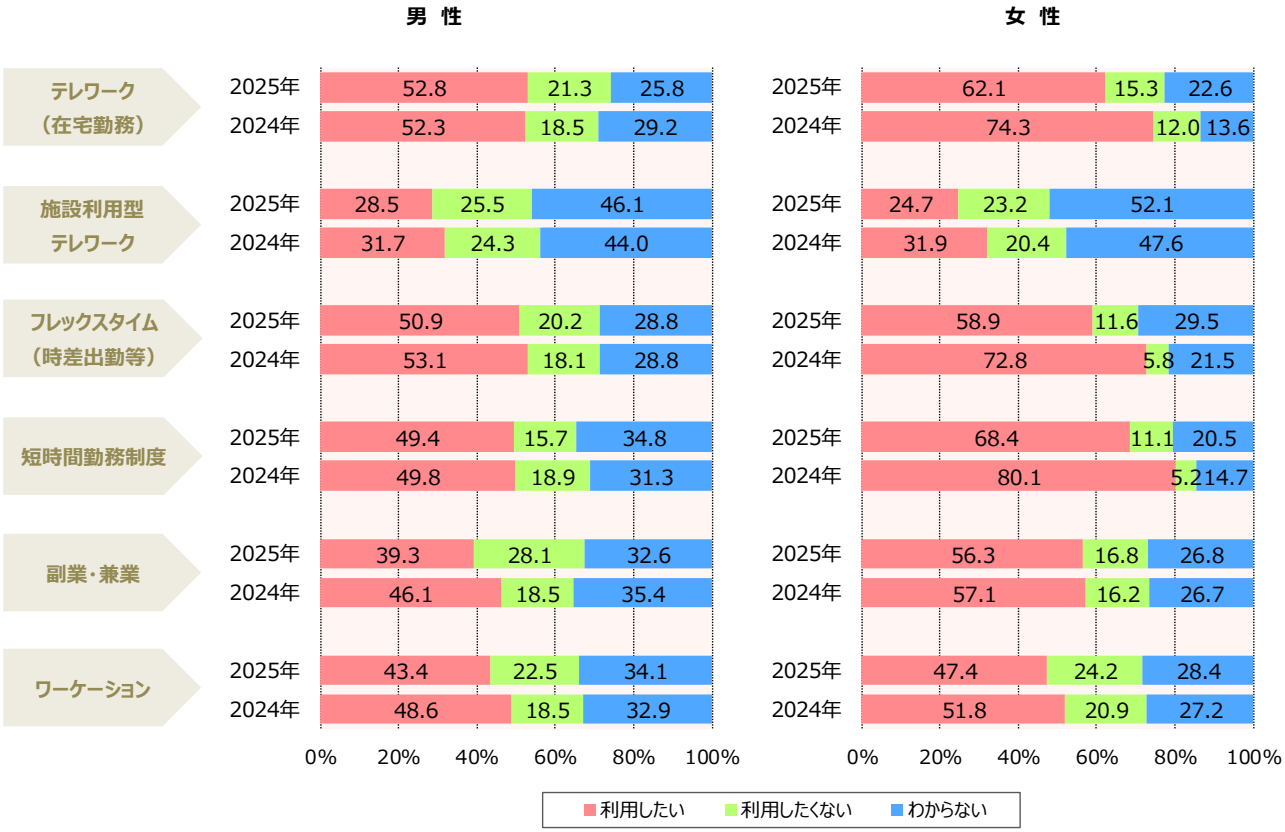
男女別に見ると、「短時間勤務制度」、「副業・兼業」の「利用したい」は、女性が男性を 15 ポイント以上上回っている。

前回と比較すると、女性において「利用したい」の割合が高い上位 3 項目は、「短時間勤務制度」が 68.4%、「テレワーク（在宅勤務）」が 62.1%、「フレックスタイム（時差出勤等）」が 58.9%であったが、いずれも前回より 10 ポイント以上低下しており、それぞれ▲11.7 ポイント、▲12.2 ポイント、▲13.9 ポイントとなった（図表 9）。

図表 8　利用したい働き方



図表 9　利用したい働き方（男女別）



（９） 理想の上司

・・・「内村光良」が２年連続で１位

今年度の新入社員に、「あなたの理想の上司とはどんなタイプですか。著名人・有名人に例えて１人だけお答え下さい（自由回答）」と尋ねたところ、全体ランキングではタレントの「内村光良」が前回に続き１位に輝いた。選んだ理由については、「親しみやすく優しそう」、「ダメだと思うこともはっきりと言って、正しい道に進めるようにしてくれそう」などの意見が寄せられ、男女別ランキングでも１位となった。

２位も前回と同じくメジャーリーガーの「大谷翔平」で、特に男性からの支持が多く、「目標を持って努力しているから」、「ストイックだけど優しそうだから」などの意見が寄せられた。

男女別ランキングでは、男性が選んだトップ３は１位が「内村光良」、２位が同率で「大谷翔平」と「明石家さんま」となった。女性が選んだトップ３は１位が「内村光良」、２位が「アンミカ」、３位が同率で「天海祐希」と「水卜麻美」となった（図表 10）。

（敬称略）

図表 10　理想の上司（敬称略）

	順位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全体	1	明石家さんま	明石家さんま	水卜麻美	内村光良	内村光良
	2	水卜麻美	天海祐希	大谷翔平	大谷翔平	大谷翔平
	3	天海祐希	内村光良	明石家さんま	水卜麻美	明石家さんま
	4	内村光良	櫻井翔	内村光良	明石家さんま	水卜麻美
	5	イチロー	水卜麻美	天海祐希 志村けん	櫻井翔、志村けん フリーザ、ムロツヨシ	アンミカ

	順位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
男性新入社員	1	明石家さんま	松本人志	志村けん	大谷翔平	内村光良
	2	イチロー	明石家さんま	明石家さんま	内村光良	大谷翔平
	3	阿部寛	イチロー	大谷翔平	フリーザ	明石家さんま
	4	松岡修造	内村光良	内村光良	明石家さんま	フリーザ
	5	松本人志	志村けん	栗山英樹	志村けん ムロツヨシ	松岡修造

	順位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
女性新入社員	1	水卜麻美	天海祐希	水卜麻美	水卜麻美	内村光良
	2	天海祐希	水卜麻美	天海祐希	内村光良	アンミカ
	3	内村光良	明石家さんま	櫻井翔	アンミカ	天海祐希
	4	明石家さんま	内村光良	大谷翔平	櫻井翔	水卜麻美
	5	櫻井翔	櫻井翔	明石家さんま	天海祐希 渡辺直美	櫻井翔

（注）網掛けは2025年度全体で回答率が高かった上位3位までの人。

以上